

機能/仕様一覧表

帳票デザインファイル(Excelシート)に設定されたExcelの各種設定が、プレビューや印刷、PDF形式での出力時に反映されるかを表しています。※主要な設定のみ記載しています。

【○=反映する、×=反映しない】

Excelメニュー	設定項目	VB-Report (*1)		
		プレビュー/印刷/PDF(*3)	プレビュー	印刷
[ページレイアウト][ページ設定]-ページ	印刷の向き(縦/横)、拡大縮小印刷(拡大/縮小10~400%)、用紙サイズ	○	○	○
	拡大縮小印刷(次のページ数に合わせて印刷)	×	×	○
[ページレイアウト][ページ設定]-余白	上、下、左、右、ヘッダー、フッター、ページ中央(水平、垂直)	○	○	○
[ページレイアウト][ページ設定]-ヘッダー/フッター	左詰、中央揃え、右詰、二重下線、上付き文字、下付き文字、太字、斜体、下線、取消線、ページ番号、ページ番号に<数値>を加えて表示、ページ番号に<数値>を引いて表示、日付、時刻、シート見出し、&(アンパサンド)を1つ、フォント、フォントサイズ、総ページ数	○	○	○
[ページレイアウト][ページ設定]-シート	印刷範囲、印刷タイトル	×	×	○
	枠線	×	×	○
	ページの方向(左から右へ/上から下へ)	○	○	○
[セルの書式設定]-[表示形式]	分類			
[セルの書式設定]-[配置]	横位置:標準・左詰め(インデント1~15)・右詰め(インデント1~15)・中央揃え・右詰め・両端揃え・選択範囲内で中央・均等割り付け			
	縦位置:上詰め・中央揃え・下詰め・両端揃え・均等割り付け	○	○	○
	文字の制御:折り返して全体を表示する、縮小して全体を表示する、セルを結合する			
	方向:縦書き・90~90度			
[セルの書式設定]-[フォント](*4)	横位置:繰り返し	×	×	○
	右から左:対象、左から右、右から左	×	×	○
[セルの書式設定]-[罫線]	フォント名、スタイル、サイズ、下線(なし/下線/二重下線)、色、文字飾り	○	○	○
	下線(下線(会計)/二重下線(会計))	×	×	○
[セルの書式設定]-[塗りつぶし]	上・下・左・右・左上がり・右上がり、スタイル(14種)、色	○	○	○
[挿入]-[図](*5) (*6)	背景色、その他の色、パターン、パターンの種類	○	○	○
	塗りつぶし効果	×	×	○
[挿入]-[図](*5) (*6)	図、図形(*図1.対応するオートシェイプを参照)	○	○	○
	クリップアート、SmartArt	×	×	○
[挿入]-[グラフ]	グラフ全般	×(*7)	○	○
[挿入]-[テキスト]	テキストボックス	○	○	○
	ワードアート	×	×	○
行、列(*8)	高さ、幅、標準の列幅、表示しない	○	○	○

(*1) VB-Reportは、Excelを使用せずVB-Report独自の技術によりプレビュー、印刷することができます。○=Excelを使用しない場合でも帳票結果に反映されるもの

(*2) VB-Reportは、実行環境にインストールされたExcelを使用してプレビュー、印刷することができます。○=Excelを使用することで帳票結果に反映されるもの

(*3) PDFファイルの制限により、若干の違いが生じる場合があります。

(*4) 同一セル内で複数のフォントを設定することはできません。

(*5) 透過画像はPDFでのみ対応。VB-Report独自機能によるプレビュー、印刷では対応していません。

(*6) 3D、影、グラデーション、テキストチャには対応していません。

(*7) Visual StudioのChartコントロールを使用したグラフ付き帳票の出力に対応しています。

(*8) VB-ReportとExcelでは、行の高さや列の幅の算出方法に違いがあるため、双方で出力した結果を比較した場合、高さや幅に若干の違いが生じる場合があります。

セルの値に合わせた行の高さ、列幅の自動調整には対応していません。



図1.対応するオートシェイプ

上記の他、直線、矢印、テキストボックス、縦書きテキストボックスも、帳票デザインで使用することができます。

ライセンス

VB-Report 8のランタイムファイルは、クライアント環境への再配布時のみロイヤリティフリーです。サーバー環境へ再配布する場合は、別途「サーバーライセンス」が必要となりますので、詳しくは弊社までお問合せ下さい。

必要システム※

OS	Windows Vista (SP2以上) / Windows 7 (SP1以上) / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2008 (SP2以上) / Windows Server 2008 R2 (SP1以上) / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2
メモリ	1GB以上(推奨2GB以上)
ハードディスク	100MB以上
開発環境	Visual Studio 2008 (SP1以上) / 2010 / 2012 / 2013
フレームワーク	.NET Framework 3.5 (SP1以上)
Excelのバージョン	Excel 2003 / 2007 / 2010 / 2013

※日本語版環境でのみ動作保証を行っております。

■標準価格 93,500円(税込み)1クライアント開発ライセンス

販売に関するお問合せは下記をご利用下さい

ホームページ ▶ <http://www.adv.co.jp/>

アドバンスソフトウェア株式会社

〒918-8239 福井県福井市成和1丁目2816番地

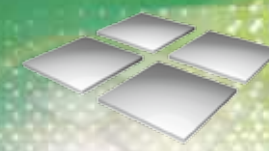
TEL.0776-21-9008(代) FAX.0776-21-9022 E-mail:info@adv.co.jp

※表記中の会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

※仕様は品質改良の為、予告無く変更することがあります。

取扱店

Excelで彩るハイブリッド帳票開発



VB-Report 8

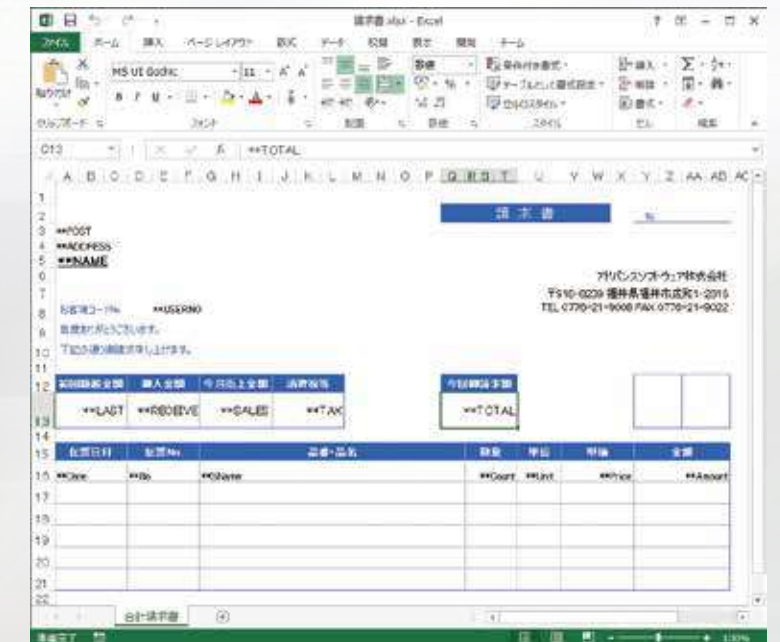
多様化する帳票開発にフレキシブルに対応する帳票作成ツール

帳票デザイナーはExcel! セルでつながるデータと帳票!

固定帳票から連続帳票までスマートに出力!

ハイブリッドな帳票開発

VB-Report 8は、Microsoft Excelで帳票レイアウトを作成する画期的な帳票生成支援コンポーネントです。帳票ツール独自のデザイナー機能を新たに覚える必要はなく、Excelの多彩な修飾機能を使用した美しい帳票をシンプルなコードで作成できます。開発者はデータの差し込みや出力などのプログラミングを行い、帳票レイアウトはエンドユーザーが作成する、ハイブリッドな帳票開発を実現します。エンドユーザーが後から帳票レイアウトを変更することもできるので、開発工数だけでなくメンテナンスに掛かるコストも大幅に削減できます。



xlsx形式、xls形式の両方のファイル形式に対応

100%マネージコードで実装されたコンパクトなコンポーネントで、xlsx形式、xls形式の両形式に対応します。付属のビューアコントロールもxlsx形式、xls形式の区別なく作成した帳票の出力が可能となるため、ファイル形式ごとのインターフェース実装を意識せずにアプリケーションを開発することができます。

様々な帳票出力シーンに対応

作成した帳票は付属のビューアコントロールでプレビュー、印刷を行ったり、Excel/PDFファイルへ保存することができます。Windows用ビューアコントロールの他、Web用ビューアコントロール、ブラウザ用ActiveXビューアコントロール、WPF用ビューアコントロールを付属し、デスクトップPCだけでなく、タブレット端末やスマートフォン上でも帳票の出力が可能となるため、多様化する帳票開発にフレキシブルに対応することができます。



シンプルな手順で帳票を出力

帳票の出力は、たった3段階のコーディングで実現可能です。

コーディング例(C#)

```
// ①-1帳票ドキュメントの作成を開始します。
cellReport1.Report.Start();
// ①-2デザインファイル名を指定します。
cellReport1.FileName = @"vbreport.xlsx";
// ①-3帳票の作成を開始します。
cellReport1.Report.File();
// ②-1デザインシートを指定し、
cellReport1.Page.Start("Sheet1", "1");
// ②-2セルに値を設定します。
cellReport1.Cell("A1").Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
// ②-3ページ処理の終了。
cellReport1.Page.End();
// ③-1帳票ドキュメント作成の終了。
cellReport1.Report.End();
// ③-2作成した帳票ドキュメントをビューアに設定します。
viewerControl1.Document = cellReport1.Document;
```

VB-Report 8は、予めExcelでデザインしたファイルを読み込んで目的のセルに値を設定できるのももちろん、プログラム上からセルの書式設定や行列の操作、図やシェイプを挿入することができます。データに合わせて書式の変更や追加で修飾を行うことができるので、一種類のデザインファイルからレイアウトの異なる固定帳票や、明細行が可変の複雑な連続帳票も簡単に作成できます。

簡単なセルへのデータ挿し込み

変数名、A1参照形式、座標、セル名による指定で、簡単に目的のセルへデータを挿し込むことができます。

▼変数名によるセル指定

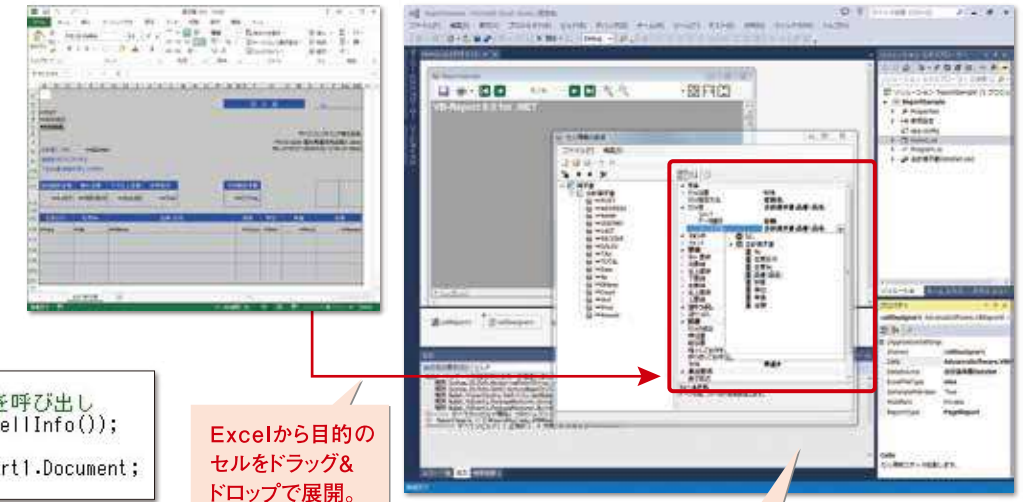
VB-Report 8では、セル値の先頭に* (アスタリスク) が2つ付いた文字列を変数名として扱い、予めデザインシートのセルに記述した変数名を指定してデータの差し込みができます。変数名を使用することで、デザインシート側でセルの位置が移動した場合でも、コードを修正することなく目的のセル位置にデータを設定することが可能となります。変数名を識別する先頭文字列 (**) を任意の文字列に変更することもできます。

コーディング例(C#)

```
// 変数名による指定
// 予めExcelで**Nameと設定されたセルを指定
cellReport1.Cell("**Name").Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
// A1参照形式によるセル指定
cellReport1.Cell("A1").Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
// 座標形式によるセル指定 ※A1セルを基点(0, 0)とする
cellReport1.Pos(0, 0).Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
// セル名によるセル指定
// 予め Excelで名前(名前の定義)を設定したセルを指定
cellReport1.Cell("Name").Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
```

セルデザイン

付属のセルデザイナーを使用することで、データを設定するセル位置の指定や、データベースの各フィールドとのバインドを直観的なUI操作で定義することができます。定義したデータを読み込むだけで帳票が作成できるので、よりシンプルなコードで帳票を出力することができます。



セルデザイナーを使用した帳票作成のコード例

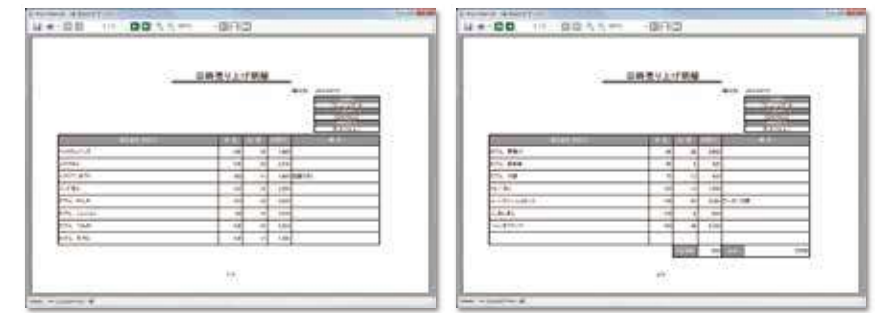
```
// セルデザイナーで作成した帳票定義を呼び出し
cellReport1.Run(cellDesigner1.GetCellInfo());
// プレビュー
viewerControl1.Document = cellReport1.Document;
```

Excelから目的のセルをドラッグ&ドロップで展開。

展開したセルに対してデータベースの各フィールドをバインド。表示形式や罫線などの書式設定も可能。

セクションレポート

新たに追加されたセクションレポート機能では、帳票のヘッダー部、明細部、フッター部を各セクション単位で管理することができます。ページ単位でのヘッダー/フッターの調整や可変のレコードなど、複雑な連続帳票も簡単に作成することができます。



出力イメージ：1ページ目

2ページ目

セクションレポートのコード例

```
// 事前に Excel シートの指定
cellReport1.Section.Start("売上上げ明細", false);
// ヘッダー部セル範囲指定
cellReport1.Section.Header("1:18");
// 明細部セル範囲指定
AdvanceSoftware.VBReport9.SectionDetail detail = cellReport1.Section.Detail("14");
// 明細のデータ件数分、明細行の追加
foreach (Sales row in sales)
{
    detail.Start();
    detail.Cell("Shouhin").Value = row.Item;
    detail.Next();
}
// フッター部セル範囲指定
cellReport1.Section.Footer("15:16");
// ページ作成処理終了
cellReport1.Section.End();
```

様々な帳票出力シーンに対応する複数のビューアコントロールを付属

VB-Report 8で作成した帳票は、付属のビューアコントロールでプレビュー、印刷を行ったり、Excel/PDFファイルへ保存することができます。ビューアコントロールは製品の対応するアプリケーション形態ごとに専用のコントロールを付属しているため、様々な帳票出力シーンに対応します。

Windows用ビューアコントロール



- ・ビューアコントロールをWindowsフォームに貼り付け、DockプロパティをFillに設定するだけでプレビューウィンドウが作成できます。
- ・ツールバー、ステータスバーを非表示にできるので、独自のユーザーインターフェイスにカスタマイズできます。
- ・ツールバーの各ボタンを非表示、無効にできるので、必要な機能だけを利用できます。
- ・印字可能領域や余白を表示させることができます。

Web用ビューアコントロール



- ・Web用ビューアコントロールでは、作成した帳票ドキュメントをHTMLのテーブルデータとしてブラウザ上に表示させることができます。
- ・ActiveXコントロールをインストールすることができない環境や、タブレット端末、スマートフォン上でも帳票のプレビュー、印刷が可能です。

その他付属のビューアコントロール

- ・WPF用ビューアコントロール
- ・ブラウザ用ActiveXビューアコントロール
- ・Windowsストアアプリ用ビューアコントロール

レポート生成ツール「DB-Report Lite」

帳票をノンプログラミングで出力可能なレポート生成ツール「DB-Report Lite」を付属。セルデザイナーと同様のUIにデータを設定する目的のセルをExcelから展開し、データベースの各フィールドとのバインドや書式の設定など、帳票作成に必要な定義を全て直感的なUI操作で行います。出力形式はプレビュー、印刷、Excel/PDF保存に対応し、ページ設定や改ページの条件も細かく指定できるので、プログラミングの技術がなくても簡単に多様な帳票を作成することができます。

その他

- プラットフォームに依存しないアプリケーション開発…VB-Report 8の製品アセンブリは100%マネージコードで実装されているため、環境のプラットフォームやVisual C++ランタイムに依存しないアプリケーション開発が可能です。
- バーコードクラス…QRコード、PDF417といった2次元バーコードをはじめ、主要な1次元バーコード、郵便力スタマバーコードを生成することが可能なバーコードクラスを付属。「VB-Report 8」ひとつでバーコード付き帳票の作成が可能です。
- 自動再計算機能…SUM関数やIF関数など、Excelの一部の関数に対応。コード上から計算式が参照するセルの値を更新した場合、自動的に再計算された結果を出力帳票に反映します。
- 進化したPDF生成エンジン…従来のPDF生成エンジンで対応していなかった暗号化レベル「RC4 128bit」までのパスワード設定、外字切り替え機能、透過画像の反映に対応しました。